

チアライズ日本語アカデミー 「自己点検・自己評価」計画

*ABCの3段階で評価

A：達成されている。

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる。

C：達成に向けて努力している。

1. 教育理念・教育目標

（理念）

私たちは、日本の社会で通用する総合的な日本語力を身に付け、自身の将来について自ら深く考え、主体性をもって自分の人生を切り拓いて行ける人財を育成します。

（教育目標）

- ・「高度な日本語能力」に加えて「日本文化社会一般に関する幅広い知識・理解力」を養い、日本の社会に対応できる基礎を築きます。
- ・進路指導や特別授業を通し、自己分析、課題発見、計画立案等を行い、実行する力を養います。
- ・生徒が希望し且つ適切な在留資格の取得ができる形での大学院、大学、専門学校への進学率100%及び就職率100%を目指します。

1-1. 教育理念、教育目標および育成する人物像は明確か。	☒ A	B	C
1-2. 1-1が全ての教職員と学習者に共有されているか。	☒ A	B	C
1-3. 1-1に基づく教育が行われているか。	☒ A	B	C
1-4. 1-1が社会のニーズに合致した内容となっているか。	☒ A	B	C

【達成状況、課題、改善計画など】

2. 学校運営

2-1. 告示基準に適合しているか。	☒ A	B	C
2-2. 理念、目標に沿った運営方針や事業計画が策定されているか。	☒ A	B	C
2-3. 運営方針が明確で、職員に周知されているか。	☒ A	B	C
2-4. 管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営がされているか。	☒ A	B	C
2-5. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	A	☒ B	C
2-6. 情報共有が適切に行われているか。	☒ A	B	C
2-7. 最新かつ正確な学校情報を開示しているか。	☒ A	B	C
2-8. 業務の見直しおよび効率的な運営の検討が定期的に行われているか。	☒ A	B	C
2-9. 相談や苦情等に対して適切に対処しているか。	☒ A	B	C

【達成状況、課題、改善計画など】

システムについて改善を進めているが、新たな改善点も生まれ、今後も納得のいくレベルに達するための改善を続ける。

3. 教職員

3-1. 校長、主任教員、教員は「日本語教育機関の運営に関する基準」で定められた要件に適合しているか。	☒ A	B	C
3-2. 教員および職員の雇用条件等を明文化しているか。	☒ A	B	C
3-3. 校長、主任教員、専任教員および非常勤教員の職務内容を明確に定めているか。	☒ A	B	C
3-4. 教育理念や教育目標が教職員間で共有されているか。	☒ A	B	C
3-5. 教育目標を達成するための取り組みがなされているか。	☒ A	B	C
3-6. 教職員の評価を行っているか。	☒ A	B	C

【達成状況、課題、改善計画など】

4. 教育活動の計画

4-1. 教育目標に沿った内容や進捗であるか。	☒ A	B	C
4-2. 教育目標達成に向けたカリキュラムが体系的に編成されているか。	☒ A	B	C
4-3. 学習者が到達すべき日本語能力の目標が明示されているか。	☒ A	B	C
4-4. 教育目標に適した教材や機器が使用されているか。	☒ A	B	C
4-5. 教育内容や方法について、教員間で共有されているか。	☒ A	B	C
4-6. 学習者の学習目的や試験結果など、指導に必要な情報を教員間で共有できているか。	☒ A	B	C
4-7. 教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしているか。	☒ A	B	C
4-8. 学内や学外の研修など教員の指導力向上のための取り組みは行われているか。	A	☒ B	C

【達成状況、課題、改善計画など】

教員研修ですが、まだ教材ごとの研修に留まっているので、これを全体的なものに広げていく予定。

5. 教育委活動の実施			
5-1. プレースメントテストに基づくクラス編成と、適切なクラス運営ができているか。	☒ A	B	C
5-2. 授業記録簿等を備え、実施した授業を正確に記録しているか。	☒ A	B	C
5-3. 成績評価や修了等の判定基準が明確で、適正な運用がなされているか。	☒ A	B	C
5-4. 各課程の到達目標が達成できているか。	☒ A	B	C
5-5. 学習者の希望の進路を把握し、適切な指導等を行っているか。	☒ A	B	C
5-6. 進路に関する最新の情報が備えられているか。	☒ A	B	C
5-7. 個別学習指導等の体制、指導が行われているか。	☒ A	B	C
5-8. 適切な管理体制を取って、体験活動や行事などが実施されているか。	☒ A	B	C
【達成状況、課題、改善計画など】			

6. 成績判定と授業評価			
6-1. 理解度や到達度および成績判定結果を的確に学習者に伝えているか。	☒ A	B	C
6-2. 判定の基準や方法の妥当性を定期的に検証しているか。	☒ A	B	C
6-3. 授業評価を定期的に実施しているか。	☒ A	B	C
6-4. 判定や評価の結果が教育の内容や方法の改善および教員の教育能力向上等の取り組みに反映されるものになっているか。	☒ A	B	C
【達成状況、課題、改善計画など】			

7. 教育成果			
7-1. 入学から卒業または修了までの学習成果を記録して保管し、適正に管理しているか。	☒ A	B	C
7-2. 卒業や修了の判定が適切に行われているか。	☒ A	B	C
7-3. JLPTやEJUなど外部試験の結果を把握しているか。	☒ A	B	C
7-4. 卒業または修了後の学習者の進路を把握しているか。	☒ A	B	C
7-5. 卒業生および修了生の状況を把握するための取り組みを行い、進学先	A	B	C

や就職先等での状況や評価を把握しているか。	ハ	（B）	（C）
【達成状況、課題、改善計画など】 卒業生の進路先での状況等は把握しているが、評価の把握までは一部に留まっているため、今後改善を図る。			

8. 教育施設・環境			
8-1. 教室、その他の施設は「日本語教育機関の運営に関する基準」に適合しているか。	（A）	B	C
8-2. 教室は十分な照度、換気、遮音性が確保されているか。	（A）	B	C
8-3. 教材は十分に揃っているか。	（A）	B	C
8-4. 学習に必要な視聴覚教材やIT機器が揃っているか。	（A）	B	C
8-5. 自習室など、授業外でも学習できる部屋が整備されているか。	（A）	B	C
8-6. 法令上必要な設備等を備えているか。	（A）	B	C
8-7. 施設や設備の定期的な安全点検は行われているか。	（A）	B	C
8-8. 廊下や階段等は、緊急時の移動に危険がない状態を保っているか。	（A）	B	C
8-9. 学校の衛生管理に問題はないか。	（A）	B	C
【達成状況、課題、改善計画など】			

9. 入学者の募集と選考			
9-1. 募集計画を定め、募集活動は適切に行われているか。	（A）	B	C
9-2. 海外の募集代理人（エージェント等）の行う募集活動が適切に行われていることを把握しているか。	（A）	B	C
9-3. 学校情報や教育内容が、正確に伝わっているか。	（A）	B	C
9-4. 入学志願者の情報を正確に把握し、提出された資料等や面接による確認および調査が適切に行われているか。	（A）	B	C
9-5. 入学選考基準および方法が明確で、適切な入学選考を行っているか。	（A）	B	C
9-6. 入学者の選考に当たっては、学校関係者（職員等）が面接等を行うよう努めているか。	（A）	B	C
9-7. 入学金や授業料などの納付金額や納付時期について明示されているか。	（A）	B	C
9-8. 関係諸法令に基づいた学費等の返還規定が定められているか。	（A）	B	C
9-9. 9-3、9-7、9-8は入学志願者が理解できる言語で行うように努めて	（A）	B	C

いるか。	(A) B C
【達成状況、課題、改善計画など】	

10. 在留管理と生活指導	
10-1. 生活指導責任者および入管事務担当者が特定され、周知されているか。	(A) B C
10-2. 生活指導責任者および入管事務担当者は、最新かつ適切な情報取得を継続的に行っているか。	(A) B C
10-3. 在留関係の管理・指導が適切かつ定期的に行われているか。	(A) B C
10-4. 学習者が母国と日本の文化の違いを理解し、日本社会に適応するための指導やアドバイスが行われているか。	(A) B C
10-5. 日本の法令を遵守させる指導を行っているか。	(A) B C
10-6. 学生の出席状況の管理とフォロー体制が適切に行われているか。	(A) B C
10-7. 在留に関する学習者の最新情報を正確に把握しているか。	(A) B C
10-8. 資格外活動違反者発生防止などの取り組みを継続的に行っているか。	(A) B C
10-9. 問題ある学習者に対して、個別指導を適切に行っているか。	(A) B C
【達成状況、課題、改善計画など】	

11. 学生支援	
11-1. 住居など学生の生活環境への支援や助言が行われているか。	(A) B C
11-2. 進学や就職に関する相談および指導体制が整備され、機能しているか。	(A) B C
11-3. 保健室の医薬品等の管理がされているか。	(A) B C
11-4. 対象となる学生全員が国民健康保険に加入しているか。	(A) B C
11-5. 健康診断を定期的に行っているか。	(A) B C
【達成状況、課題、改善計画など】	

12. 財務			
12-1. 予算・収支計画は妥当か。	A	☒ B	C
12-2. 中長期的に学校の財政基盤は安定しているか。	☒ A	B	C
12-3. 会計監査が適切に実施されているか。	☒ A	B	C
12-4. 設置母体と学校の経営が、明確に区分されているか。	☒ A	B	C
【達成状況、課題、改善計画など】			
2024年度4月生募集については、過去最高の入学者数を獲得しました。同年10月生については、定員との兼ね合いで入学者を抑制せざるを得ませんでした。2023年以降の3月現在の在籍数については、順調に伸ばし、2025年3月現在の在籍数は過去最高を記録しました。			

13. 法令の遵守			
13-1. 法令遵守に関する担当者を定め、法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	☒ A	B	C
13-2. 教職員のコンプライアンス意識向上のための取り組みを行っているか。	☒ A	B	C
13-3. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	☒ A	B	C
13-4. 自己点検・自己評価の実施・公開と問題点の改善に努めているか。	☒ A	B	C
13-5. 出入国管理局、関係官庁等への届け出、報告を遅滞なく行っているか。	☒ A	B	C
13-6. 法令違反をした学生に対する対処方法が整備され、教職員間で共有されているか。	☒ A	B	C
【達成状況、課題、改善計画など】			

14. 安全・危機管理			
14-1. 防災用品が備蓄されているか。	A	☒ B	C
14-2. 気象警報発令時の措置および災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定め、避難訓練を定期的実施しているか。	A	☒ B	C
14-3. 緊急時の連絡方法を整備し、周知されているか。	☒ A	B	C
14-4. 感染症や重篤な疾病、傷害、交通事故などが起きた場合の対応を定めているか。	☒ A	B	C
【達成状況、課題、改善計画など】			
災害発生に備えた水などの備蓄はできているが、他の防災用品についてはまだ十分とはいえず、			

また避難場所なども徹底されていない状況なので、早急に災害に備えた体制をとるよう改善する。

15. 地域貢献・社会貢献

15-1. ボランティア活動参加や日本語教育機関の資源・施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	☒ A	B	C
15-2. 地域住民から寄せられた意見や要望を把握し、対応しているか。	☒ A	B	C
15-3. 地域の自然や文化財、伝統行事などを教育資源として活用しているか。	☒ A	B	C
15-4. 地域イベントへの参加や学校イベントへの招待などによる地域住民との交流ができていないか。	A	☒ B	C

【達成状況、課題、改善計画など】

地域イベントおよびごみ拾いなどのボランティア活動への参加などができるようになったが、まだ校内イベントへの招待が不十分なので引き続き改善を図る。

16. 学校情報の公開

16-1. 学校に関する様々な情報をホームページ等で適正に公表しているか。	☒ A	B	C
16-2. 公開されている情報に誇大表現や不適切な表現などがいないか。	☒ A	B	C

【達成状況、課題、改善計画など】

【実施時期、方法、体制、公表】

実施時期	毎年3月
実施責任者	校長
実施担当者	主任教員、生活指導担当、在留事務担当、学生募集担当、経理担当
実施方法	アンケートおよび聞き取り調査
実施体制概要	①実施1か月前に、校長が実施に向けて指示をする。 ②校長の指示を受け、実施担当者がアンケートおよび聞き取り内容を作成し、手順や集計、会議日程を計画する。 ③計画に沿ってアンケートおよび聞き取り調査を実施する。

	④結果を集計し、共有する。 ⑤全体会議にて、結果を検討し、改善案をまとめる。 ⑥会議で決定した改善案を学校の運営や教育に反映させるため、関係各部署にて協議し、具体策を校長に報告する。 ⑦校長は設置者に自己点検および自己評価について報告する。 ⑧設置者は結果を翌年度の運営方針に反映させる。 ⑨結果をホームページにて公表する。
外部評価	日本教育振興協会等の第三者機関評価を実施する。
公表方法	ホームページ

